

第90回の同窓会総会を祝う



懇親会のアトラクション
「九重太鼓」(浜松市北区郡田町)



全身全霊でうち叩かれる太鼓の響き

同窓の原点回帰

同窓会長 高15回 伊藤 英明



見中・磐田南高等学校 同窓会だより

第38号

発行日 平成28年10月10日
発行者 見中・磐田南高等学校同窓会
発行責任者: 伊藤 英明
印刷 株式会社 大進堂
同窓会ホームページ
http://bannan-dousoukai.com



平成二十八年度の同窓会総会並びに懇親会が、ご来賓の皆様のご臨席のもと、厳粛かつ盛大に開催されました。ことにまずもって心から感謝申し上げます。合わせて、総会の担当年次でありました高校四十七回生の皆さまにも厚く御礼を申し上げる次第です。

同窓生の在り方として求めました。また、同窓生は「肩を同じうし、志を同じうする真の朋友」であるとして強い絆を訴えました。このような経過の中、これまでに見付中学・磐田南高を卒業した二万六千人が同窓会員として、国内はもとより、海外においても活躍していることは私どもの誇りでもあります。母校は昨年、野球部が県大会でベスト4という快挙を成し遂げましたが、本年はベスト8をかけた試合でシード校に惜敗という残念な結果になりました。しかし、昨年、今年の試合内容は、磐田南に底力がつき、強い野球部の伝統が築かれ始めたと思う次第です。このような野球部の活躍に刺激を受け、本年は陸上(定時制を含む)、囲碁、文芸、地学、物理、ビジュアル(写真)の部門で全国大会に出場するなど、在校生は、文武両道・質実剛健の伝統を引き継ぎ、活躍している姿は頼もしい限りです。



9月に行われた小田原山の草刈の様子

教育理念である「労作教育」によるものであるといえます。「勤労作業により人格形成を図る」としたこの全国に稀なる教育は、尾崎校長の強い信念に基づくものであります。この教育を心から受け止め、校長補佐として陣頭指揮にあたった小田原勇教頭、そして実践を深化させ理論化した若き労作部長の武末知一先生たち3人の深い縁が合体し、着実に成果を上げてきたことを忘れてはなりません。人間であれば卒寿を迎えた同窓会を皆様と共に祝い、改めて同窓の原点と創立期の偉大な教師に思いを馳せ、次なる九十一回に繋げたいと思います。母校は六年後の二〇二二年に、創立百周年という歴史的節目を迎えます。私たち同窓生は、母校の伝統のもとに学んだ真の朋友として、百周年に相応しい事業を実施することが母校への報恩感謝の誠を捧げることになると思う次第です。今後、学校と同窓会が一体となって準備委員会を立ち上げ、計画を進めてまいります。皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。会長の挨拶といたします。

8月21日(日)に開催しました「第90回 見付中学校・磐田南高等学校同窓会総会・懇親会」に、スタッフを含め約500人と多数ご参加いただきましたこと、また開催にあたり関係者の皆様にご多大なご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。



皆で肩を組み校歌の大合唱

90年前に初代同窓会会長を務められた尾崎校長先生や、今まで総会の実行委員を務められた先輩方に思いを馳せ、この90年の節目に、今一度原点に立ち返り、同窓生の「絆」を再確認する場にしたい。また国内外で活躍する本校の卒業生が、母校や仲間、地域、ひいては日本のために貢献し、この「絆」をもって助け合うことを確認する場にしたい。



次年度実行委員長の寺田利行さん

1つは年月が経っても助け合える同級生がいる「誇り」、2つは支えてくださった先輩がいる「誇り」、3つ目は、見中・磐田南の卒業生である「誇り」です。

最後に、本日ご参加の皆さん、誠にありがとうございました。



総会実行委員長 高47回 伊藤 英明



平成28年8月21日、磐田グラインドホテルにおいて、来賓並びに多くの同窓生の参加をいただき「第90回同窓会総会・懇親会」が盛大に開催されました。総会では、開会の言葉の後全員で校歌を斉唱。審議事項として会務報告、決算報告、28年度役員改選、28年度会務計画・予算案が提案され、いずれも承認されました。懇親会においては、卒業70年、60年、50年の方々にそれぞれ金銀銅メダルが贈呈されました。当番年次の皆様による工夫されたアトラクションの中では、大いに盛り上がり、世代を越えた絆を深めました。



総会の様子

磐南生の「絆」と「誇り」

今、私がそうであるように、皆さんの胸(心)には、総会のサブタイトルにありますように、「(心に)はぐまの花が咲き誇っている」のではないのでしょうか。最後にみなさんの前で同級生の仲間にお礼を言わせてください。「47回生の仲間、1年間の準備、そして今日のスタッフとして全国から110人が集まってきてありがとう。当番年次は終わっても、私達の絆は生涯のものです。これからもよろしく。」

同窓会総会 受賞者 喜びの談

金
卒業70周年(中20回)
挨拶は中島通雄さん



金賞を頂戴し

ただ今は、卒業70周年金賞を頂き、嬉しいと言っております。嬉しうまあ何か今日まで来れたのだとほっとしています。

私達が卒業したのは、太平洋戦争が終わる五ヶ月前の昭和二十年三月でした。昨年表彰された十九回生と同じ昭和二十年三月です。私達二十回生は、学徒動員令によって昭和十九年八月から名古屋西枇杷島の軍需工場で働かされ、二十年三月に本来なら五月で卒業のところが繰り上げて四年で全員卒業させられたからです。

あれから七十一年、それぞれ色々あって今何を話してよいかわかりません。私達は今年中には全員八十八歳、米寿を迎えます。随分長生きをしたものだと思えますが、出来ればまだまだ皆さんの邪魔にならないように過ごしたいと願っています。



本日は有り難うございました。

銀
卒業60周年(高9回)
挨拶は中塚博文さん



ただ今は、第90回の節目の同窓会総会で、77歳喜寿を祝す銀メダルを授与していただき、本当に有り難うございました。まずもってお礼を申し上げます。

今日は、磐南第9回卒業生のうち足腰が立ち特別に用事のない暇人たちの33名が出席させていただきました。私共は、磐南を卒業して60年が経過しましたが、当時の状況を少しだけお話しします。

【金賞受賞者のコメント】



金賞受賞者



十年前に銀賞、今回は金賞と二度の受賞に感激しております。今後も見中精神を忘れないように頑張りたいと思います。

磯部俊典さん



金賞を戴いて大変嬉しく思います。防犯パトロール、囲碁、吹き矢、G・Gで、毎週楽しんでおります。

銅
卒業50周年(高19回)
挨拶は村松武博さん



になり、制服をどうするか問題になりました。検討が繰り返された結果、襟に一本線を入れた今の制服が生まれたのです。

今日の、磐南第9回卒業生のうち足腰が立ち特別に用事のない暇人たちの33名が出席させていただきました。私共は、磐南を卒業して60年が経過しましたが、当時の状況を少しだけお話しします。

入学は昭和29年、その年は全国高等学校陸上競技大会学校対抗で3回目の全国優勝をした年で、学校全体が大変活気づいていました。もう一つは、女性の入学生も少しずつ増加する時期

体育の授業は、もっぱらオリンピックをテレビ観戦した覚えがあります。

次の東京大会で金メダルというわけにはいきませんが、磐南同窓会の金メダルを目指して、今後も頑張ります。



リオオリンピック開催中の本日、ここに「銅メダル」をいただけることは、まるでオリンピック選手になったようです。本当は、もっと違った色のメダルがほしかった!! 笑

私たちが磐南に入学したのは昭和39年、東京オリンピックの年です。期間中、

卒業50周年(高19回) 母校に資金援助

総会に先立つ6月18日(土)、母校はぐま会館で開かれた平成28年度同窓会評議員会の席上において、高19回生の代表から母校白畑豊現校長に現役高校生のために役立てていただきたいと「金二十万円」が手渡されました。

本日は、本当に有り難うございました。



銀賞受賞者

同窓会に資金援助

総会の席上において、高28回生の山下堅司さんをはじめとした代表の方々から同窓会伊藤英明会長に同窓会事業の充実のために役立てていただきたいと「金二十万円」が手渡されました。

慰霊祭のご報告

慰霊祭実行委員長



高38回 太田 好洋

8月21日午前10時より、はぐま会館におきまして、平成28年度慰霊祭を執り行わせていただきました。この一年間の同窓生物故者58名と高校38回生の早世された7名の御霊の平安をお祈りさせていただきました。

同級生の御霊に捧げた慰霊の詞では、若くしてこの世を去った友への思いが語られ、友の無念さを強く感じられたと同時に、改めて今を生きる自分たちの果たすべき役割や責任の重さを実感しました。

今回、伝統ある慰霊祭の一翼を担うことができました。また、夢を語り合った学舎で、故人を偲ぶ機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。

以上、慰霊祭のご報告とさせていただきます。



同窓会役員一同 尾崎楠馬先生墓参



伊藤英明会長をはじめ役員が、総会に先立つ8月20日に、見性寺に眠る尾崎先生の墓前に「第90回総会開催」を報告しました。先生の質実剛健の精神が今に受け継がれ、栄光の磐田南高が益々発展していることに感謝とお礼を申し上げます。

支部総会に参加を

関東支部

支部長 加藤 亨(高23回)
住所 東京都千代田区大手町2-2-2
アーバンネット大手ビルB1
電話 03(52555)1414
総会日 平成28年11月12日(土)
13時30分~16時30分
会場 ティ・ナイト大手町店
ひと言 今年が高40回が担当
皆集まりまいか!
学生の参加者は半額

静岡支部

支部長 鈴木 一雄(高24回)
住所 静岡市葵区追手町1-13
静岡経済研究所内
電話 054(250)8750
総会日 平成28年11月9日(水)
18時30分~20時30分
会場 ホテルセンチュリー静岡
18Fスカイスイート
ひと言 静岡地区に住まい、勤める
同窓生の参加をお待ちしています。

掛川・菊川支部

支部長 橋本洋子(高14回)
住所 掛川市平野2005
電話 090(5866)6405
総会日 平成29年1月7日(土)15時~18時
会場 パレスホテル掛川
ひと言 高25回藤原岳彦静岡産業大
学教授の記念講演を予定
しています。

袋井支部

支部長 松本 貢(高16回)
住所 袋井市岡崎3928093
電話 090(7676)0227
総会日 平成29年未定(28年度は7月開催済)
会場 袋井市総合センター

磐田支部

支部長 青島 克樹(高14回)
住所 磐田市城崎4-11-11
電話 090(2610)1509
総会日 平成29年4月8日(土)
会場 磐田クラフトホテル
ひと言 皆様の参加をお待ちして
います。

豊田支部

支部長 芥川 知孝(高20回)
住所 豊田市池田1-2008
電話 0568(50)2664
総会日 平成29年2月12日(日)
13時30分
会場 磐田商工会豊田支所2F大会議室
ひと言 同期の仲間を誘って青春時代の思い出を語りませんか?

北遠支部

支部長 生熊 克己(高17回)
住所 浜松市天竜区一保町一保97-1
電話 053(922)0117
総会日 平成28年10月15日(土)
会場 柴林寺

東海支部

支部長 大橋 正隆(高8回)
住所 名古屋市中区白壁の27の6301
電話 052(97)7663
総会日 未定
会場 未定

関西支部

支部長 青島 敏行(高11回)
住所 滋賀県大津市
鳥居川町6-35の101-8
電話 077(50)000028
総会日 未定
会場 未定

支部活動

◆ 関東支部

同窓会 この素晴らしき仲間たちの 躍動に感謝

副支部長(高29回 山内英典)

今年、平成28年5月、12回目を数える「新卒業生歓迎会」を開催。母校を卒業したばかりの初々しい後輩を、先輩大学生や幅広い年代の大人たちが、こぞって歓迎をした。

毎年、100名前後が集うこの会は、関東支部、春の風物詩。もちろん単なる飲食での交流会ではない。大学生の発案による、参加者全員での学部別研鑽会をする。今年も熱気みなぎる時間が展開された。

先輩たちは、多くの質問に快く答える。実はこれが楽しい。学生たちの、その夢への深い向上心と、緻密な洞察力に、我々は、若き磐南卒業生は凄い……、いつも感動する。

さて、秋11月の第二土曜日、めんめんと続く総会、これが関東支部のメイン行事である。磐田近辺からの応援参加も含め、毎回100名を超える同窓生が、参集する。

◆ 浜松支部

浜松支部設立準備会 開催のご案内

このたび見付中学・磐田南高等学校同窓会「浜松支部」が新たに立ち上げることになりました。

浜松支部設立準備会を開催します。このたび見付中学・磐田南高等学校同窓会「浜松支部」が新たに立ち上げることになりました。

日時
平成28年11月12日(土)14時から

そこで配られる資料が、圧巻。支部独自で印刷物を発行させて頂いている。まず平成23年、24ページにわたる「遠州方言」を刊行。「わしらん田舎の言葉だもんで、伝えにゃあ、いかんたら。そう思うもんで、作っただよ(表紙より)」。

そして平成25年、「関東支部 創立60周年記念誌」は、同窓会本部からの多大なる援助も頂き、更に、同年秋発行の本部新聞に同封して頂く厚意を賜り、全国の同窓会員に配布する米巻を頂いた。感謝に堪えない思い出である。

担当編集者の、渾身の徹底取材により、新たな資料開示もあり、尾崎楠馬初代校長の本部と支部へのご愛情深きご厚情を、再認識させて頂く機会にもなった。

今夏、40年以上続く、支部新聞の第41号の発行も完了した。

さて、最後に一つ、支部員である大学生の郷土愛の素晴らしさも記しておきたい。例えばお祭りの。昔と違って、中学生時代から自町の祭典運営に自然に携わってきた彼らは、今も、東京からその準備と運営参加

のため、秋には故郷に足しげく通っている。磐田一中関係(府八幡宮祭典)だけでも、鴛鴦社、心誠社、東組にと、大学生の年次委員が今年も馳せ参じている。



関東支部総会懇親会

年次・OB会活動報告

陸上部OB 全国制覇思い出の地 熊本へ義援金

1954年に熊本県で開催された第7回全国高校陸上競技対校選手権大会(現全国高校総合体育大会)で総合優勝した陸上部OBが、熊本地震で被災した現地競技施設の復旧に役立ててもらおうと、今年6月に義援金を贈った。

呼び掛けたのは、当時の主将の大庭勝さん(高7回)。当時、大会会場として使われた熊本市の水前寺競技場が被災し、使用できない状況を知った大庭さんは、当時の優勝メンバー7人に義援金を呼びかけた。



大庭さんと現在の陸上部OB会長の広岡征夫さん(高14回)が、磐田南高校を訪れ、メンバーで集めた10万円と陸上部OB会からの3万円を加えた13万円を、県高体連役員を務める

大庭さんと現在の陸上部OB会長の広岡征夫さん(高14回)が、磐田南高校を訪れ、メンバーで集めた10万円と陸上部OB会からの3万円を加えた13万円を、県高体連役員を務める

高二十二回 六十五歳記念同窓会

高22回 菊池 満

二十二回生六十五歳記念同窓会が六月一八日に浜松市内のホテルで開催されま



した。当学年の同窓会は、卒業三〇年までは一〇年おきに開催してまいりましたが、四〇周年まで待てずに五五歳のとき開催し、その後は二年から五年間隔となり、今回が七回目の学年同窓会となりました。



恩師を囲んで

白畑豊校長に手渡し、同連盟を通じて、熊本県高体連に贈られた。

大庭さんによると、陸上部は、当時、全国の強豪校で第一回と第五回の大会で総合優勝していた。第七回の大会では、大庭さんは100メートル、200メートルリレーに出場。仲間の奮闘もあり、同郷の浜松商業高との激しい優勝争いの末、3回目の総合優勝を勝ち取った。

大庭さんは、「熊本はかけがえない思い出の地。競技場が早く復旧し、そこから五輪選手が育ってほしい」と思いを語った。

白畑校長は、「他の種目も含め、熊本のスポーツ界を支援する動きにつながれば」と支援の広がりを見守る。

「チーム磐南 公式ポロシャツ」 のご案内

「チーム磐南」とは、「強だけでなく、地域の人達に愛される、魅力のあるチーム」をサポートする人たちの集まりです。

磐南野球部を応援して、誰かが一体となってサポートし、「甲子園に絶対に出場しよう」との思いから始まりました。「チーム磐南」に入会した方に、この思いを込めた公式ポロシャツを贈呈しています(写真)。このポロシャツを着て、甲子園のアルプススタンドで応援する日を夢見て、磐南野球部を一緒に応援しましょう。

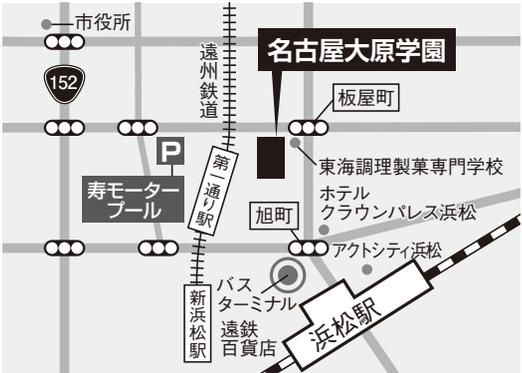
入会金3,000円で
ポロシャツ贈呈



チーム磐南 公式ポロシャツ
(磐田をイメージする青色)

TEAM ANNAN SINCE 1922

サイズ: SS/S/M/L/LL/3L
 <お問い合わせ先>
 野球部OB会長 小林俊幸
 Tel: 090-1984-1432
 Fax: 053-451-4400
 Eメール: kobayashi@e-alliance.info



卒業生は 今



人生は面白い ～チャンスは突然～

高18回 夏目智子

私の出合った恩師

見中15回 白井美知也



プロフィール

趣味の絵筆と、パソコンでフェイスブックを楽しむ毎日

……
いつの間にか卒寿を越す歳になり、来し方を思うとき、その時々々に教えを受けた恩師のことを思う。

鈴木泰山先生は見付中学五年の担任だった。僧職であった若き教師は毎朝私たちに般若心経を唱えさせた覚えがある。卒業をまちか私は先生に話すべきことを手紙に書いて



プロフィール

全国地域婦人団体連絡協議会前事務局長
NPO法人ふあみりあネットワーク理事長

チャンスは突然

7年前の平成21年8月、一本の電話から、思いがけない生活が始まりました。「後任として、東京で働いてもらいたい」と。電話は全国地域婦人団体連絡協議会（全地婦連）の事務局長からでした。私はライフワークと

て職員室の机の上に置いた。ところが、幾日過ぎてもそのまま困っていた時、友人が「白井を連れて家に来い」と先生から言われたと言う。次の日曜日、緊張して友人と先生のお寺に伺った。そして、風邪で臥していた枕もとで、厳しいお説教をいただいた。「担任教師に手紙でしか、ものが言えぬか」「教師の懐に飛び込め、それが師弟だ」と。正に僧侶泰山師の「喝」だった。私は度肝を抜かれ、心に

まっていた。先生の「喝」で、私は一変することができた。

教授に親しく指導を受けた。この二教授も忘れえない恩師である。

師範学校に入学し、初めて家を離れての寄宿舎生活、加えて厳しい戦時下の校則の下では一切の甘えは許されなかった。担任の新保幹夫先生、美術の北野熊雄先生には特別にご指導を受けた。お宅にまで友人と出かけたことも度々だった。お二人の先生には卒業後まで家族ぐるみのお付き合いさせていた。

戦後になり、私は新教育の研究で県教育研究所勤務を命ぜられた。ここで高原博部長よりご指導を受けた。また、昭和30年代日本美術教育学会に入会して、京大の井島勉

なお多くの師に巡り会い、教えをいただき、今日あるのも鈴木泰山先生の「喝」のお蔭である。

して、地域活動を通じて社会貢献をすることとし、平成7年には女性団体を設立。そして平成13年にはNPO法人を設立し、子ども・子育て支援を中心とする地域活動をしてきました。その活動の関わりで、全地婦連との繋がりを得ており、お声かけをいただいたと思えます。

当時、環境的に身軽ではありませんでしたが、東京で仕事をするとすることは、単身赴任をすることになります。幸いにも2年間（結果は6年間）の任期、週末には帰宅することで、夫の理解を得て、9月から62歳でフルタイム、単身赴任の新しい生活が始

地方の声を国へ届ける
全地婦連の主な目的は、地方で活動する会員の声を国へ届けるため、様々な審議会等への参画を進めることがあります。会長はじめ理事（各県の会長）を審議会におくり、私も内閣府の消費者委員会委員を4年間務め、地域課題を消費者問題として捉える視点を得ました。

全国を駆け巡る
全地婦連は47都道府県と2つの政令指定都市が加盟する女性の地域活動団体で、事務局は東京の渋谷にあります。仕事は加盟団体との連絡調整、官公庁との連携など多岐にわたり、毎年、開催県を変えて開催する全国研究大会、全国7ブロックの会議（7都市×6年）、事業実施する各県の都市へ出かけ、全国を巡りまわります。この間、多くの人たちと出会い、地域活動を目的の当たり前にして、女性の元気は地域の元気、街の活性化には女性の力が不可欠と実感致しました。

袋井市に戻り、支えてくれる良き仲間と夫に改めて感謝をし、今後頑張る所存です。

新入生が大学生活に軟着陸できるよう、少人数の基礎ゼミ・クラスが設けられ、教員は学生のケア係を担います。教育力向上を目指し、授業公開、授業評価アンケート、研修会等を通

大学教員は忙しい

高26回 木船久雄



プロフィール

名古屋学院大学学長

「大学教員は羨ましい。趣味みたいなことやっていてメシが食える。乞食と大学教授は一日やったらやめられない、なんて言うよね」

今でも友人諸氏に言われます。20年前だったら否定もせず、ニヤケた顔で笑い飛ばしていたでしょう。確かに研究調査は嫌いじゃない。最低限のノルマは週5コマの授業。学問や言論の自由は保証され、何を言っても許される。だから「こんな甘い商売、他に無い」と思わないでもない。

自分たちの学生時代には考えられなかったような懇切丁寧な教育サービスが、今は多くの私立大学で展開されているのです。それは同時に教員への負荷増大を意味します。

しかし、少子化やグローバル化の大波は大学にも押し寄せ、この20年の間にキャンパス風景を大きく変えました。18歳人口の減少は大学の学生奪い合い競争に拍車をかけ、各大学は教育サービスの魅力化に凌ぎを削っています。

というわけで、大学の業務はここ20年間で指数関数的に増えてきました。だから、今の大学は教員が安穩と趣味に生きられる環境ではありません。どうぞ誤解の無いように。

そして、追加的な資金と労力をかけ、御上の指示に従わざるをえません。



ふじのくに静岡の魅力を発信

高27回 深谷幸久



プロフィール

静岡県交通基盤部部長代理等を経て本年4月からふじのくに大使館公使(静岡県東京事務所長)

昭和50年に南高理数科を卒業し、大学受験は文系に方向転換して千葉大学人文学部法経学科に進み、昭和54年に静岡県庁に就職しました。高校・大学時代はオイルショックで戦後の高

度経済成長が終焉し先行き不透明な時代、一方で「地方の時代」が叫ばれ始め地方に明るい希望のようなものを感じた頃でした。

入庁後は総務部、健康福祉部、経済産業部、企画広報部、交通基盤部など多くの部署を経験し、ふるさと創生一億円事業の市町村支援、バブル崩壊後の中小企業景気対策、福祉のまちづくり条例制定、介護保険スタート準備、国内外からの企業誘致、地域外交基本方針策定等の新しい仕事に多く携わってきました。新しい仕事にやりがいを感じる反面、仕事に慣れるのに苦労することもありました

が、周囲の助けを借りて何とか乗り切ることができました。今ふり返ると様々な経験ができて大変勉強になったと思っています。

現在は、首都圏での本県の窓口・拠点として、中央省庁や各国大使館等との連絡調整や情報収集、首都圏からの企業誘致、本県情報の国内外への発信等に取り組んでいます。静岡を離れ東京で仕事をしていた、県人会や同窓会など本県ゆかりの皆さんに様々な場面で応援をいただき、同郷・同窓の繋がりがなご横のネットワークの大切さを改めて痛感しています。

東京に赴任して目につくのは、街に多くの若者が溢れ、巨大なビルがあちこちで建設されている光景であり、東京にいると人口減少社会の実感が全く湧いてきません。首都圏の人口は昨年1年間で約11万人増加し、全国で人口減少が進む中で東京一極集中が加速しています。一方、本県人口は昨年1年間で約1万7千人減少し、減少率は全国で4番目に多く、減少率も0.45%で全国(0.22%)を大幅に上回っています。特に若者の首都圏への流出が大きな問題になっていきます。首都圏への流出を抑え静岡へ戻る流れを作るためには、雇用や進学機会の確保、子育て環境の改善等に取り組むとともに、本県の魅力を首都圏に発信して、

移住・定住、U・Iターンや企業移転等の「地方創生」に繋がる取組が必要です。

東京事務所では国内外の各種メディアに近いという地の利を生かして直接本県の魅力を売り込むとともに、在京の県人会や企業交流会、県内高校同窓会等との連携強化や本県ゆかりの関係者にお集まりいただく「ふじのくに交流会」の開催等を通して情報発信に努めています。

私の県庁人生も残りわずかですが、様々な機会に「ふじのくに静岡」の魅力を発信し、最後まで本県の発展に尽くしていきたいと思っています。



社会に出てからの学び

高31回 江崎和明



プロフィール

(株)江崎新聞社・静岡(株)静岡オリコミ・(株)静岡ソクバイ 代表取締役社長

妻の実家に婿養子として入り、鈴木から江崎に苗字が替わってはやく三十一。静岡市で新聞販売業を中核に映画興行や広告業を営んでいます。

現場修行を終えた三十歳の頃、スター精密創業者の故・佐藤誠一さんから経営計画を学ぶことになりました。

高校では文系、大学は法学部の私は五年後の貸借対照表まで作成する本格的な内容に落ちこぼれました。あわてて先輩経営者にすがって補習をお願いしたのが、当時若手の銀行員だった静岡銀行の中西勝則氏でした。

いまや頭取・地銀協会長となられた中西さんから、償却費の計算方法や資金繰りの基礎を直接学べたわけで、思え



ば賢い勉強会でした。

家業の方向性をめぐって、義父である社長と意見の相違に悩んでいた頃、中西さんに頂戴したのが、京セラ・KDDI創業者の稲盛和夫氏の本でした。

稲盛氏の主催する盛和塾に参加し、全国の躍進する塾生企業から刺激を受け、JAL再建の様子もリアルタイムに見聞しました。

盛和塾では部門管理の手法であるアメーバ経営とともに、何のために経営するのか、経営者である以前に人としてど

多様性とルーツ

高36回 村松直樹



プロフィール

グーグル株式会社 マーケティングテクノロジー 営業部 統括部長

磐田に生まれ、中部小、一中を経て磐南を卒業後、早30年以上が経ちました。今年で51歳の私は現在グーグル株式会社の東京オフィスで働いています。グーグルの営業部門にて、大手広告代理店や広告主に対し、各種デジタル広告キャンペーンの統合管理プラットフォームを提供する責任者としております。このポジションとしてグーグルに入社し、早4年半が経ちました。日々目まぐるしい変化の中、成長を続けている業界に身を置きながら、日々チャレンジして

おります。

グーグル入社以前は、米国ニューヨークに20年程暮らし、様々な経験をしました。MBAの取得、スタートアップ企業の設立、各種ボランティア活動に加え、米国生活最後の職場であった電通では、企業買収に携わり、ニューヨークを拠点に東奔西走したことなどすべてが、今の私にとって大きな財産となっています。

ニューヨークでは、複数の人種、様々な国籍、多様な背

景の人達と、仕事やプライベートで一緒になる機会が日常でした。そしてグーグルでは、企業哲学の一つである「ダイバーシティ(多様性)」の中で動いています。これらが原因なのか、私にとって、知り合う方々の「ルーツ」にとても興味があります。それを知ることがお互いの距離を縮める潤滑剤になると思うからです。

高校卒業後は、個々の好奇心や意志にて無限に道を開いて行くことができます。が、それ以前は、与えられた環境の中で交流が中心であり、そこで個々のルーツが形成されると考えます。私のルーツは高校卒業までの磐田であり、両親、仲間、先生達に支えられた磐南の3年間がその中心です。機会があれば、出会う人々に対し私のルーツを胸を張って話しています。サッカー部同級生との正月の集まり、中泉のお祭り、SNSでの同級生との情報交換を通じて、その思いを育てつつ、こんな私の思いを先輩方や後輩達に伝える機会を提供していただいた、この同窓会だよりに改めて感謝する次第です。

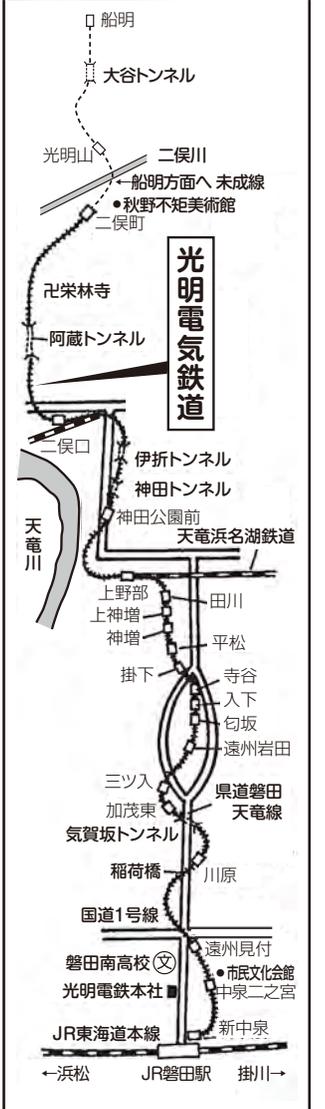
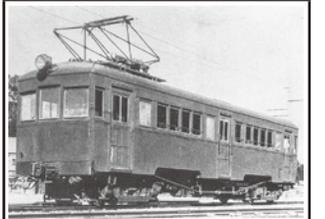




見付中学生徒たちと駅長(遠州見付駅/昭和8年)

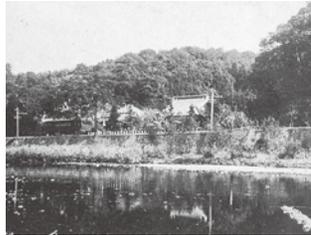
故郷の周辺を訪ねて 光明電気鉄道とその廃線跡

～ 磐田南高校周辺を中心に～
取材・執筆：喜多 啓之 (磐田南高校教諭・地理担当)



【短い営業期間】
しかし、当時の日本は関東大震災や不況の影響で経済は不安定で、運営資金が集まらず、資金不足に悩まされていました。また、株主も大企業の参加が少なく、多くが地域住民を中心とした零細株主でした(全株式の約80%が10株未満の株主)。これは、光明電鉄が地域住民によって支えられた鉄道であると言えるのですが、同時に会社経営の脆弱さも示しています。

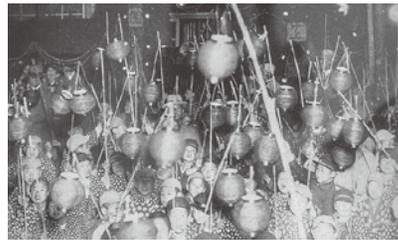
光明電鉄は、昭和初期に中泉町から二俣町間の19・8kmを走っていた鉄道です。本来の計画では二俣町よりも北方の船明までの22・6kmが正式な路線で、電車は走りませんでした。線路やトンネルなど一部の施設は建設されていましたが、さらに、構想だけでしたが、北陸まで線路を建設し日本を縦断する壮大な考えもありました。当時の北陸地域は、林業・製紙業・鉱石などの豊かな資源に恵まれており、これらの開発に多くの資本が投下され、その物資や製品をどのように輸送するのが重要でした。ここで、北陸と東海道線を結ぶ構想が持ち上がり、地域の総合開発の一つとして光明電鉄の計画につながっていきました。こうして、大正8年(一九一九)頃から、鉄道建設の動きが見られるようになり、大正14年(一九二五)に創立総会が開かれました。この鉄道は、当時、日本各地で見られた軽便鉄道ではなく国鉄並みの規格でした。これは、将来国鉄が電化した時に光明電鉄と乗り入ることを見越していたため、先を見た計画であったことが伺えます。



栄林寺前を走る電車(二俣町)

こうした状況でしたが、大正15年(一九二六)に起工式が行われ、府八幡宮前の本社から淡海国玉神社までのパレードも催され、多くの人々が賑わいました。ですが資金不足は解消されず、部分開通を続けながら営業し、二俣町まで開通したのが昭和5年(一九三〇)でした。その後も船明までの全通を目指し工事は続けられましたが、経済不況の影響もあり鉄道収入は少なく、電力料の不払いにより電力会社から送電を止められ、電車が走れないこともありました。債権者からの申し立てにより破産宣告を受けたりもしました。そして、昭和10年(一九三五)に鉄道抵当法により強制競売を受け、債権者の1人である北陸の実業家に落札され、個人所有の鉄道となったのですが、落札者は鉄道経営の意思がなかったため、すぐに廃止手続きが取られ、翌年廃止されてしまいました。結局、営業期間は約8年という短さでした。

営業期間が短いため、光明電鉄の写真や文献などの資料はほとんど残っていません。光明電鉄が、幻の鉄道と呼ばれる理由でもあります。また、廃止後の鉄道資産は様々な方面へ切り売りされました。現在、鉄道が廃止され80年が過ぎ、廃線跡を明確に示すことは困難です。当時の地形図を見ても、どこに路線や駅があったのか詳しく分からないことが多いのです。ただ、豊岡地区を走る天竜浜名湖鉄道の路線は、光明電鉄のものをそのまま転用したため、今でも線路やトンネルが使用されています。今回は、磐田南高校の周辺の廃線跡を中心に見ていきたいと思います。



本社前でのパレード(大正15年4月14日)

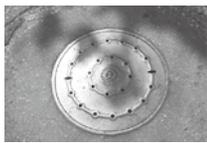
光明電気鉄道 路線図

【新中泉駅跡】

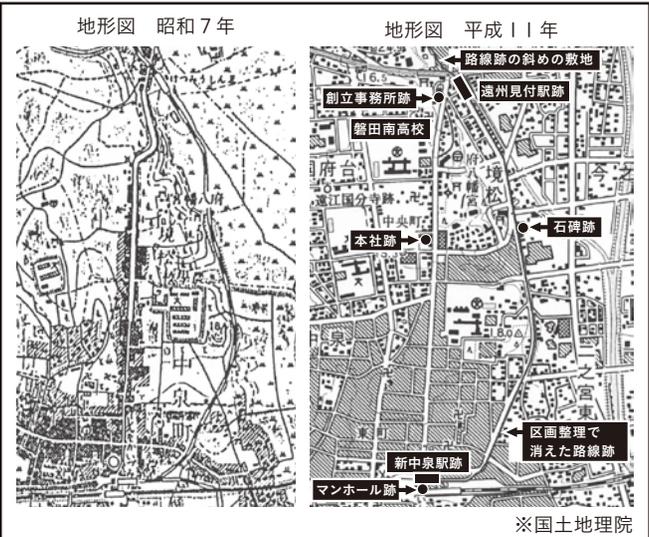
光明電鉄の起点が新中泉駅で、JR磐田駅の北側にありました。現在は、磐田信用金庫の駐車場になってしまっています。ここから、北東に路線は伸びており、市民文化会館やアピタ磐田店前を通り、加茂川交差点につながる道が路線跡になります。地元の人達も昔から、この道を「電車道」と呼んでいました。しかし、約10年前から始まった区画整理により、JR磐田駅から北東に延びる道路はなくなり、また、磐田駅の北側には光明電鉄の社章が記されたマンホールがありました。駅前の整備で平成28年(二〇一六)に撤去されてしまいました。現在は、市の文化財課で保管しています。そして、磐田市水道局の駐車場前には、路線が通っていたことを示す石碑が磐田市中泉公民館振興会によって平成5年(一九九三)に設置されましたが、敷地が市の再開発に関係したため、平成24年(二〇一三)頃に撤去されました。



天竜浜名湖鉄道軌道として転用され、現在も使用されている(神田トンネル～神田公園前駅間)



磐田駅前のマンホール



※国土地理院

【遠州見付駅跡】

石碑は市振興会で保管されています。このように、光明電鉄の跡を示すものは消えつつあります。加茂川交差点の南東付近にありました。路線の中では大規模で、整備工場も備えた中心的な駅でした。磐南の創立五十周年誌には、ホームで駅員と見付中学の生徒が写っている写真(紙面左上)が載っています。周辺に駅の遺構はありませんが、道路や住宅が線路のあった方向と同じ斜めに並んでいることに、路線の名残が見られます。そして路線は西光寺の前を通り、そのまま北西方向へ進んでいました。他にも、この駅付近には創立事務所が磐南の東門を出て加茂川交差点に下る道の西側に、本社が府八幡宮の正面にありました。



二俣町までの開通を祝う関係者(遠州見付駅/昭和5年)

【その他の光明電鉄の遺構】

このように、光明電鉄は80年前に廃止され、その営業期間も短かったため、遺構はほとんど残っていません。当時のことを知る人も少なくなり、また、廃止後の鉄道資産は様々な方面へ切り売りされたため、少ない遺構も私有地にあることが多く、知られていないのが現状です。しかし、ここ数年は徐々に光明電鉄に興味を持つ方が増えており、これをきっかけに、光明電鉄へ関心が広がり、新たな資料や当時の話が得られたり、路線跡に興味を持つ人が増えていたり、忘れ去られていたこの鉄道が、磐田の歴史として残っていくと思われまします。最後に、数少ない遺構の一部を紹介しておきます。



栄林寺南方に残る阿蔵トンネル



大谷山中で草木に埋もれる大谷トンネル



天浜線遠江二俣駅付近の二俣口駅のホーム跡

【参考文献】『幻の光明電鉄―開業構想とその周辺―』鈴木直之著 『今は昔しすわか懐かし鉄道』静岡新聞社 『光明電気鉄道―廃線跡を訪ねて―』磐田西高社芸部

「質実剛健、真剣至誠、文武両道」に立ち返る

校長 白畑 豊



この四月に磐田南高等学校長として赴任いたしました白畑豊と申します。第28回卒のOBとして、母校の校長を勤めることができる幸せと、その責務をやり遂げる覚悟を持って全力で取り組んでまいります。卒業以来40年ぶりに母校に戻り、校舎は昔のままで古くとも、女子生徒が増えたことで華やかさを感じつつ、自分の高校時代にはまだまだ残っていた校訓「質実剛健、真剣至誠、文武両道」からイメージするバンカラさを懐かしく思い出しました。

南の精神である「質実剛健、真剣至誠、文武両道」は、小手先の手法ではなく、基礎・基本を徹底的に身に付ける姿勢であるような気がします。また、私は赴任早々、入学式で「ノープレス・オプリージュ」を意識できる大人になってもらいたいという話をしました。「ノープレス・オプリージュ」とは、日本語に訳せば「尊き責務」でしょうか。五年前の東日本大震災、福島第一原発事故で欧米メディアから「福島フイフティ」と賞賛された、事故直後から命を懸けて収拾作業に臨んだ東京電力の技術者、東芝、日立のエンジニアたち50人。21世紀の日本でノープレス・オプリージュを実行した人たちです。彼らのように、自分の仕事にプロフェッショナルとしての気概と使命感を持っている人間が日本にいないことを忘れてはなりません。将来、ノープレス・オプリージュを意識できる大人になれるよう、高校生活の中で磐南生としてのプライド、使命感を培ってもらいたいと思っています。

はぐま祭を終えて

生徒会長 3年 寺澤あおい

今年のはぐま祭は「道く Just keep going」をテーマの下開催され、昨年に引き続きたくさんのお客様に御来校していただきことができました。

今年のはぐま祭は「道く Just keep going」をテーマの下開催され、昨年に引き続きたくさんのお客様に御来校していただきことができました。今年のはぐま祭は「道く Just keep going」をテーマの下開催され、昨年に引き続きたくさんのお客様に御来校していただきことができました。

剣に取り組んでくれた生徒の皆さん、本部の仕事を手伝ってくれた三年生、温かい言葉をかけてくださった先生方、そして、熱心な御指導をくださった生徒会本部顧問の喜多先生。私たちが支えてくださったすべての方に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。また当日は、部活動の展示やクラスの展示だけでなく、PTAカフェやバザーなども大盛況で、学校全体が活気に溢れていました。工夫を凝らした展示ではぐま祭を盛り上げてくれた生徒の皆さん、バザーに商品を提供してくださった方々、そして、PTAカフェを開いてくださった保護者の皆様。たくさんの方々の御協力のおかげでお客様に楽しんでいただくことができました。本当にありがとうございました。



マウンテンビュー 留学生受け入れ

2年 合川 渚

フードが好きなとか、○○人というだけでひとくくりにすることはできないということ。自分に置き換えること。自分と置き換えること。自分と置き換えること。自分と置き換えること。

今年、マウンテンビュー生のホストを経験させていただきました。家族に無理を言って希望したものの不安が大きかったです。しかし、我が家に来てくれた Aidan はとても優しく、私の拙い英語にじっくり耳を傾けてくれました。また、食べ物や日本にしかない文化、私たちが高校生の流行りものなど、何にでも挑戦してくれるので、紹介することが楽しく、誇りしかったです。滞在中、気づいたことは、アメリカ人だから感情の起伏が激しいとか、ジャンク



六日間という短い間でしたが、マウンテンビューの生徒と一緒に生活できたことは私にとってとてもよい経験となりました。初対面の人と話すことがあまり得意ではなく、会うまでは仲良くなれるか心配でした。しかし実際に会ってみると、笑顔で話しかけてくれる生徒が多いのでとても刺激になりました。今回学んだことを忘れず、またマウンテンビュー生と会うことができよう、これから頑張っていきたいです。貴重な体験をありがとうございました。



3年 萩原日向呼 私は今回ホームステイの受け入れを体験して、日



本人としてもっと日本のことを知らなければならぬということに気づかされた。私がホームステイを受け入れたLenaは日本のアニメが大好きで、アニメに詳しくない私にたくさんのお話を教えてくれました。このとき私は、日本人であるのに日本のアニメについての知識がなく、アメリカ人であるLenaに教えてもらったことを恥ずかしく思いました。現在、アニメだけでなく、多くの日本の文化が世界中で受け入れられているという事実を、私たち日本人はもっと自覚するべきだと思います。私は今まで、「将来は世界に出て、様々な国のことを学びたい」と考えていました。しかし、その考えは今回の経験を通して変わりました。「もっと日本の文化について深く学びたい」。

私は将来、日本人としてきちんと日本の文化を知った上で、海外に目を向けたいと思います。今回のマウンテンビュー生の受け入れは、私の考えを養ってくれた貴重な体験となりました。



磐田南高等学校 1年 平井優名

私が本校に入学してから三ヶ月は、本当に目まぐるしく過ぎる日々でした。

私が選んだ部活動は吹奏楽部です。入部に先立って、定期演奏会で先輩方の演奏を聴くことができました。磐南吹奏楽部オリジナルのフリースタイル演奏には圧倒されました。演奏だけでなく、劇や、工夫された演出もありとても楽しいステージでした。

入部後は、生徒自身が部

を動かしていく、徹底した生徒主体に驚きました。また、大前行列、はぐま祭、国分寺祭の三つのステージで演奏させていただきました。BB (磐南 Brass Band)らしい演奏を直に肌で感じることができました。しかし、私にとって動きながら楽器を吹くことは難しく、暗譜も不十分であり、満足のいく演奏ができませんでした。次のステージでは、先輩方のようなパワフルで自信に満ちた演奏ができるように、更に練習に励んでいます。

学習面では、とても内容が高度で、学習の量も増え、勉強時間が足りないと感じるようになりました。それに対応していくために、一つ一つの授業を大切にしていかなければなりません。また、家庭での学習では、集中力をつけてメリハリのあて安定した学習習慣を定着させていくことが今の目標です。

学習と部活動を両立させ、さらに、さまざまな事にも挑戦し、目まぐるしくとも、充実した高校生活を送り、真の磐南生に近づきたいと思っています。



ビジュアル部 活動の記録

写真部(ビジュアル部)の変遷

現在のビジュアル部は、昭和30年代に「写真部」として発足しました。しかし昭和50年代以降は次第に衰退し、平成15年に映像文化部と合併して「ビジュアル部」として生まれ変わりました。当時は廃部の危機にありましたが、顧問が代わった翌年には全国大会(全国高校生文芸祭)に出場し、以来13年連続で全国大会に出品し続けています。

現在の活動状況

- 部員数 34名(1年18名、2年11名、3年5名)
- 主な活動 静岡県西部高等学校写真連盟による年に3回の撮影会、本校独自の撮影会、その他学校行事やイベント毎に各自で撮影。



2014年 全国高等学校総合文化祭 優秀賞(朝日新聞社賞) 「遺伝子のリレー」 佐野舞咲

主な受賞歴

- 静岡県西部高等学校写真連盟 写真コンテスト
- 〈団体の部〉4年連続、計9回の最優秀学校賞
- 〈個人の部〉個人の部、新人の部ともに受賞歴多数
- 静岡県高等学校写真連盟写真コンクール
- 〈団体の部〉12年連続最優秀学校賞(大会記録)
- 〈個人の部〉最優秀賞(県知事賞)、優秀賞ほか受賞歴多数

全国大会出場作品リスト

- 平成16年 徳島大会 平野友貴 「ひげぼうや」
- 倉垣内将賢 「感情の湧泉」
- 吉澤麻耶 「団長」
- 平成17年 青森大会 高田早由里 「卒業式の午後」
- 春山智美 「なんだこりゃカルテット」
- 浅井琴美 「WATER BOY」
- 伊藤美穂 「放課後のメロデー」
- 平成18年 京都大会 伊藤美穂 「サクラ満開」
- 鈴木千晴 「硬派の夏(奨励賞)」
- 井戸田恵 「笑顔を作る鳴子の音」
- 伊藤いずみ 「栄光の瞬間」
- 平成19年 鳥根大会 西井杏奈 「静寂」
- 鈴木優佳 「絆〜きずな〜」
- 春山梨衣 「DANCING」
- 三ツ谷望美 「やられた」
- 平成21年 三重大会 三ツ谷望美 「気迫のメール」
- 加藤柚衣 「喜びを胸に」
- 大場有紗 「つるはしき乙女」
- 鈴木志穂 「熱血教師、名物教師」
- 三島彩夏 「天高し」
- 林 優綺 「河童〜僕の夏休み〜」
- 平成22年 宮崎大会 林 優綺 「嬉し顔」
- 川崎瑠理 「ちびっこの試練」
- 鈴木 梓 「和気あいあい」
- 澤崎早織 「絶対絶命」
- 平成23年 福島大会 大村明穂 「乙女のみだしなみ」
- 伊藤綾乃 「ガソリンスタンドのじっちゃん」
- 山田知咲 「気合いの〜かぶり」
- 吉永千穂里 「最優秀賞」
- 兼子 恵 「光差す」
- 「あふれる想い」
- 井本 麗 「ゴールを決めろー」
- 平成24年 富山大会 井本 麗 「繋がる合格(よさこい)」
- 河合真花 「一休さん現る」
- 平成25年 長崎大会 鈴木 梓 「おしどり姉妹」
- 川島珠美 「勝利の水しぶき」
- 山田修平 「ごや顔」
- 平成26年 茨城大会 佐野舞咲 「遺伝子のリレー(優秀賞)」
- 磯田晴香 「届け(奨励賞)」
- 平成27年 滋賀大会 藤田麻友 「女の闘い」
- 大石恵理子 「無邪気な笑顔」
- 西城直人 「赫い眼光」
- 平成28年 広島大会 市川純花 「実りの秋(奨励賞)」
- 滝沢明史 「感動のサプライズ」



2016年 よみうり写真大賞 高校生の部 大賞 「サクラサク」 藤田麻友



2011年 全国高等学校総合文化祭 最優秀賞(文部科学大臣賞) 「気合いの〜かぶり」 山田知咲

大学合格状況

国立大学	現役	過年度
北海道	1	
岩手	1	
東北	6	3
福島		1
茨城	1	
筑波	3	1
群馬	1	
埼玉	3	1
千葉	6	
東京海洋	1	
東京	2	1
東京学芸	2	1
東京工業		1
横浜国立	1	
新潟	2	
富山		1
金沢	5	1
山梨	1	
信州	3	2
岐阜	1	1
静岡	31	3
浜松医科(医)	5	
浜松医科(看)	3	
愛知教育	1	
名古屋	5	
名古屋工	4	1
三重	4	
和歌山	1	
京都	2	
京都工繊	1	
大阪教育	1	
奈良女子	2	2
広島	3	
高知	1	
香川		1
九州	4	
国立大合計	112	21

公立大学	現役	過年度
高崎経済	3	
首都大学東京	3	1
横浜市立	2	
神奈川立	1	
保健福祉		
福井県立	1	
静岡県立	14	
静岡文化芸術	4	
愛知県立	1	
岐阜薬科		1
滋賀県立	1	
大阪市立	1	
大阪府立	1	
神戸市外語	1	
尾道市立	1	
下関市立	1	
公立大合計	35	2

主要私立大学	現役	過年度
自治医科	1	1
青山学院	6	1
慶応義塾	3	3
芝浦工業	20	6
上智	3	
中央	20	5
東京理科	8	5
日本	17	8
法政	11	5
明治	15	2
明治学院	4	
立教	9	5
早稲田	8	4
南山	6	2
同志社	25	4
立命館	63	17
関西西	2	5
関西学院	2	3

在校生の活躍

野球部

●2016 第98回全国高校野球選手権 静岡大会

- 1回戦 本校 11 - 9 駿河総合
- 2回戦 本校 5 - 2 小笠
- 3回戦 本校 9 - 1 清流館
- 4回戦 本校 7 - 8 東海大静岡翔洋



陸上部

●全国高校総体 (岡山シティライツスタジアム)

女子 400m 出場 中谷 桐子

●東海高校総体 (岐阜県長良川陸上競技場)

- 男子棒高跳 11位 干場 拓海
- 女子 400m 5位 中谷 桐子 (全国出場)
- 女子 400mH 7位 鈴木 優花
- 女子 4x400mR 10位

鈴木 優花 中谷 桐子
鈴木 花歩 増田 未来

●東海選手権 (愛知パロマ瑞穂スタジアム)

男子棒高跳 出場

平川 巧

女子 400m 出場

中谷 桐子

女子 800m 出場

中谷 桐子

女子 400mH 5位

鈴木 優花

女子 4x400mR 出場

鈴木 優花 増田 未来
大野 瑞佳 中谷 桐子



水泳部

●第63回東海高校総体 (大垣市民プール)

- 予選リーグ 磐田南 1 - 2 2 大垣東
- 順位決定戦 磐田南 10 - 2 岐阜農林
- 磐田南 4 - 4 袋井商業

本校は第5位。



地学部

●第40回全国高等学校総合文化祭広島大会自然科学部門 (広島大学総合科学部)

参加生徒: 橋本恵一 (2年)、斎須けいら (1年)、妹尾梨子 (1年)

発表テーマ: 地学研究発表部門
「大気光波動現象観測システムの構築と縞構造をもつエルブスの並行観測」
活動の記録:

残念ながら上位入賞はできなかったが、自分たち独自の大気光観測システムを構築し、エルブスの縞との関係を明かにしたことに対して高い評価を受けた。また、発表や生徒交流会を通じて、全国の高校生と親睦を深めることができた。



囲碁部

●第40回全国高等学校総合文化祭広島大会 (広島県立びんごうんどう公園内アリーナ)

野崎 清楓
(女子個人の部 静岡県代表)
スイス方式6回戦 4勝2敗。全



46人中11位。

●第40回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会 女子団体の部・女子個人の部 (東京市ヶ谷の日本棋院会館)

団体戦

予選リーグ 主将 野崎 清楓、副将 菅野 未希
三将 竹下日南乃・板倉 優
(宮崎西、奈良学園、秋田北)

3戦全勝で決勝トーナメントへ。全国6位入賞。

決勝トーナメント

- 1回戦 磐田南 × - ○ 豊島岡女子 (東京)
- 5~8位戦 磐田南 ○ - × 筑波大付属 (東京)
- 5,6決定位 磐田南 × - ○ 彦根東 (滋賀)

個人戦

予選リーグ

- 1回戦 野崎 清楓 ○ - × 大分 上野丘高 志手
- 2回戦 野崎 清楓 ○ - × 福岡 明治学園高 武原
- 3回戦 野崎 清楓 ○ - × 神奈川 北鎌倉女子高 連野

決勝トーナメント

- 1回戦 野崎 清楓 × - ○ 栃木女子高 毛塚
- 5~8位戦 野崎 清楓 ○ - × 愛媛 宇和島東中等教育学校 東海林
- 5,6決定位 野崎 清楓 ○ - × 鳥取 米子東高等学校 神戸



ビジュアル部

●第40回全国高等学校総合文化祭 (広島国際会議場)

「実りの秋」奨励賞 (30位以内 / 全309点中) 市川 純花 (2年)
「感動のサプライズ」滝沢 朔史 (3年)



文学部

●第41回静岡県高校生文芸作品コンクール

小説部門: 最優秀賞

「ソラマメの島」

田坂 茜 (18HR)

本賞受賞により平成28年度全国高等学校総合文化祭に出場。



SSH

●SSH東海フェスタ2016 (名城大学)

38HRから口頭発表1件、ポスター発表4件、合計19名の生徒が参加・発表しました。

結果: 口頭発表

『ユウゲショウの分布拡大について part II』優秀賞
発表者 (生末 学、小野 英子、宮浦 成美、神谷 太一)

●SSH全国生徒研究発表会 (神戸国際展示場)

『浜名湖北方のカルスト地形に見られる「カレン」の形態と成因』奨励賞受賞。200数十校中7位~12位相当。

発表者 (柳澤 拓海、山口 立人、廣岡 慎、内山 綾花)

●第12回全国物理コンテスト物理チャレンジ2016 (東京理科大学野田キャンパス【千葉県野田市】)

参加生徒: 小澤 穰

1851人で行われた第1チャレンジによって103人が選抜され、第2チャレンジへ出場した。第1チャレンジの内容は、理論問題コンテスト (筆記試験 90分マークセンス方式) と、事前にテーマが示される実験課題レポートの2種類である。第2チャレンジは3泊4日の日程で、理論問題コンテストと実験問題コンテストがそれぞれ5時間かけて行われる。コンテストとは別に、交流イベントや大学の研究施設見学などのプログラムも組まれている。奨励賞受賞。





和の心 贈ります

かしゅう 菓子勇本店



6代目店主 山田 佳幸 (高28回)

磐田市中泉坂上町 TEL・FAX 0538-32-3340

ISO9001/ISO14001認証取得

総合建設業 儀 石川建設株式会社

磐田市今之浦5丁目1番地1
TEL.0538-36-0021(代)

http://www.ishikawa-cnst.co.jp

人・出会い・感動……そして発見

ホテル 観世

袋井駅前 TEL.(0538)43-1212

比那 純 (高15回)

愛される お弁当 いわきゅう

鷹野 靖 (高15回)

〒438-0814 磐田市気子島961
TEL 0538-36-9261 FAX 0538-37-3572

地域に密着した医療を目指します

内科・小児科 木佐森医院

院長 木佐森正樹(高25回)

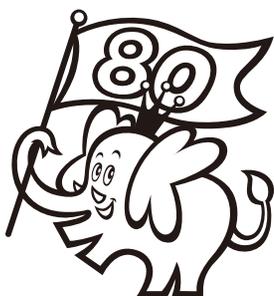
〒438-0077 磐田市国府台55-1
TEL.0538-32-2555

往診応談 禁煙治療(保険可)



応援します あなたの笑顔
磐田信用金庫

いわしん公式 LINE@



制服のキンバラ

制服のキンバラは2014年11月に
皆様のおかげで創業80年を
迎えることができました。

代表取締役社長 金原 一平 (高16回)

静岡県磐田市見付1963-11
0538-35-5404 (本社)

給油から保険・車検・カーリース迄!
安全・経済走行が私達の願いです。

株式会社 遠州日石

代表取締役社長 鈴木 裕司 (高19回卒)

本社 浜松市中区常盤町2-2 TEL053-454-7431

処方せん受付 **キヨシオピン** **ササノバ**

国府台薬局

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175 FAX 33-0770
鈴木麻里奈(高38回)

名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・沼津 全15校

学校法人 名古屋大原学園

学園長 杉山孝男 (高15回)

本部 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-20-8

浜松校 〒430-0928 浜松市中区板屋町101-8 TEL.053-455-4408

レンタル 建設仮設材レンタル 人材 人材紹介・派遣サービス
請負 クサビ式足場請負 イベント 観覧席・祭ステージ

site 株式会社 サイト

代表取締役会長 大庭 義信 (高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代)

東遠営業所 掛川市大坂6369 ☎(0537)72-4129

人材事業部 ☎0120-452-310

http://www.your-site.co.jp



JX日鉱日石エネルギー・日新火災

新車・中古車販売
株式会社 金重

代表取締役 鈴木 厚 (高21回)

本社 〒438-0835 静岡県磐田市豊田西之島258
TEL<0538>32-5185 FAX<0538>32-5186

原田和義 税理士事務所

税理士 原田 和義 (高20回)

静岡県袋井市国本2493-7
TEL&FAX 0538-43-2462



式典時の暖房に!

- ・パツグンの静音性
- ・省エネ性アップ
- ・安全設計

VAL6
SR パルシックス
エスアール



光・風・熱の技術で次の100年へ

静岡製機株式会社



熱中症対策に!

水のかで
マイナス5°Cの涼風



RKF series
505・405・303
気化式冷風機



RKFシリーズは小さな電力で熱中症対策できる商品です

産機企画課 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300
TEL.0538-23-2825 FAX. 0538-23-2890

さわやかな環境をクリエイト

BANNAN

磐南浄化槽株式会社

代表取締役社長

木戸 智弘 (高34回)

磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

株式会社 **遠州日石**



検索

代表取締役社長 鈴木 裕司 (高19回)

車検の窓口責任者 渡辺 交司 (高46回)

浜松市東区和田町811(自動車街 宮竹交差点)

TEL.0120-976-544 営業時間: 9:00~20:00

ブランドリサイクル

PickUP

浜松宮竹店・浜松西伊場店・磐田店・掛川店
宮竹バザール店・藤枝高洲店・静岡登呂店

金・ブランド買取専門店

キンバリー

浜松高林店・浜松向宿店・藤枝インター店
静岡SBS通り店・静岡草薙店・静岡沓谷店

株式会社 **ピックアップジャパン** 本部 磐田市今之浦3-4-2
URL: <http://www.pickup-japan.com>

静岡県注文戸建建築実績

おかげさまで **14年連続No.1**

(2002年4月~2016年3月実績) ※当社調べ

セキスイハイム東海

〒430-7725 浜松市中区板屋町111-2(アクトタワー25階)

<http://www.816t.jp> ☎0120-000-816



小物部品・締結部品・精密ネジ部品

ISO9001 認証取得
ISO14001

株式会社 マルイチ

代表取締役会長 安間 信義 (高7回)

代表取締役社長 安間 浩彦 (高33回)

取締役 松島 孝久 (高17回)

本社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540 TEL(053)441-4684(代) FAX(053)441-3452
ホームページ <http://www.ohha.net/maruichi/>
半田山工場 〒431-3125 浜松市東区半田山四丁目11-1 TEL(053)545-9735



株式会社 **タニコー**



あなたの大切な人を救う緊急救助用



高33回 水谷 眞啓 高33回 青山 光男 (旧姓 金原)

磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代) FAX 0538-67-1881
mizutanim@taniko.co.jp <http://www.taniko.co.jp>

資生堂・カネボウ化粧品・エステの店

おしゃれの店

みのりや 化粧品店

〒437-0027 袋井市高尾町13-1(東通り) TEL.(0538) 42-3410

袴田 政範 (高21回) 袴田 力造 (高25回)



中小企業の事業主様の「人」に関する経営アドバイザー

たていし 社会保険労務士事務所

社会保険労務士 立石 泰広 (高27回)

〒437-1104 静岡県袋井市新堀121番地
TEL. 0538-86-3725 FAX. 0538-86-3728
<http://www.tateishi-sr.jp/>

TKC コンピュータ会計

山田会計事務所

税理士 山田 敏康 (高24回)

〒437-1203 静岡県磐田市福田453-8 TEL(0538)55-2115 FAX(0538)55-3484

長尾 仁 税理士事務所

税理士 長尾 仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1
TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735

★平成28年度各種当番年次★

- 卒業10周年 高校57回生(新年次役員選出)
卒業20周年 高校47回生(総会当番)
卒業30周年 高校38回生(慰霊祭当番)
卒業40周年 高校28回生(同窓会に資金援助)
卒業50周年 高校19回生(母校に資金援助・同窓会より銅メダル贈呈)
卒業60周年 高校9回生(同窓会より銀メダル贈呈)
卒業70周年 見中20回生(同窓会より金メダル贈呈)

平成28年度校内幹事役割分担

Table with 4 columns: Role (e.g., 総務・役員会, 庶務, 会計), and 3 columns of member names.

平成28年度会務報告

- 4/6 母校入学式 保護者オリエンテーション
4/28 会計監査
5/9 校内幹事会
5/13 役員会・役員と校内幹事との懇親会
6/10 役員会
6/18 評議員会 はぐま会館 卒業50周年記念事業(高校19回) 母校に資金援助(20万円)
7/22 役員会
8/20 総会前日打合せ(役員, 当番年次, 校内幹事)
8/21 慰霊祭(高38回担当) 総会(高47回担当) 磐田グランドホテル 卒業40周年事業(高28回) 同窓会に資金援助20万円
10/10 同窓会だより38号発行
11/11 役員会, 総会当番引継ぎ会(高47, 48回)
2/3 役員会
2/28 高校第69回同窓会入会式
3/1 高校第69回卒業式

平成28年度磐田南高校同窓会会計予算

Income and Expense tables for the fiscal year. Income total: 4,811,813. Expense total: 4,811,813.

特別会計 (単位:円)

Special Accounting table with 3 columns: 科目, 金額, 備考. Total: 1,346,350.

平成27年度磐田南高校同窓会会計決算報告

Income and Expense tables for the previous fiscal year. Income total: 5,131,755. Expense total: 4,678,942.

備考:平成28年3月卒業生同窓会入会金 3,924,000円(12,000円×327名)は2月17日に入金されていますが、平成28年度分収入とさせていただきます。

支出 (単位:円)

Expense table for the current fiscal year. Total: 4,678,942.

Table for 別途積立金会計 (Separate Accumulation Fund Accounting) with 2 columns: 1. 諸事業用予備費(磐田信用金庫) 10,000,000, 2. 終身会費等の積立金(磐田信用金庫) 3,653,703, etc.

事務局より報告

これまで雨が降ると、足元がすっきりしていません。中庭通路が整備されました。この中庭には、卒業生の記念樹が植えられ、層間定時制の記念碑が建てられ...



校内幹事 永田 淳

役員改選

今年度は役員改選の年にあたり、以下の方々が役員として選出され、14年間副会長を務められた原田康代さん(高20回)が退任されました。長きにわたってのご尽力有難うございました。また、新たな役員として...

- 会長 伊藤英明(高15回)
副会長 仲川勝彦(高16回)
副会長 鈴木裕司(高19回)
副会長 谷口智子(高21回)
副会長 浅羽 浩(高22回)
副会長 鈴木一雄(高24回)
副会長 鈴木万里子(高25回)

編集室より

今年の夏は、「リオオリンピック」に猛暑の夏が一層熱気を帯びました。磐田市の水谷・伊藤選手が銀・銅メダルに輝いたことは素晴らしいの一言です。今年の高校野球も磐南はベスト16。甲子園への期待も膨らみます。

編集委員

- 伊藤英明(高15) 仲川勝彦(高16)
鈴木裕司(高19) 原田康代(高20)
谷口智子(高21) 浅羽 浩(高22)
鈴木一雄(高24) 鈴木文基(高27)

「同窓会員名簿」を発刊しました



このたび五年ぶりに「二〇一五年版同窓会員名簿」を発刊しました。ご協力いただいた同窓生の皆様方には感謝申し上げます。前回の発刊から内容が更新され、新たな若い世代も増えています。この名簿により、同窓生の絆が一層深まり、母校の発展に繋がるものと思います。

2015年版 同窓会員名簿

＜ご購入のお申込み＞
同窓会員名簿発刊事務局
磐田市岩井2295
(株)大進堂 Ⅷ:0538-32-9165

＜名簿体裁＞
B5版・約810ページ・カラー写真集
総索引付、掲載会員数約26,000名
＜定価＞
4,800円(税・送料込み)